

まちづくり通信



令和4年度 準備組合総会を開催しました！

4月14日に瑞浪駅南地区市街地再開発準備組合の総会を開催しました。最終的に20名の組合員の方にご出席いただき、議案はすべて可決しました。ご協力いただき、ありがとうございました。

勉強会では、「瑞浪駅周辺まちづくり現在の検討状況とこれから」についてお話しいただき、わたしたちの市街地再開発事業だけではなくまちづくり全体の取り組みも示されました。準備組合としてさらに再開発事業を進め、瑞浪駅を中心に盛り上げていけるよう一緒に頑張りましょう！

4月16日 岐阜新聞



挨拶する宮地代表理事



議事の様子



メディアに取り上げられました！

4/14 東濃ニュース

4/16 岐阜新聞

4/24 中日新聞

VOICE～内閣府地域活性化伝道師 高橋さんの講演を聞いて～

瑞浪駅南地区市街地再開発準備組合 副代表理事 永治高三 さん

4月28日に市役所で行われたまちづくり職員勉強会に招かれました。内容は駅北地区に計画している公共施設に関して、他市の魅力ある施設整備の事例を勉強するものでした。瑞浪駅周辺の再開発の話が出て早5、6年が経過する中で、たくさんの方からお話を聞き、数か所の視察にも行き、膨大な資料も読みたさんの会議を行ってきた中で、今回の勉強会はまた一つビビットくる成功事例が聞けました。

「今まではこうだったではなく、これからはこうでないと」という考えのもと、従来の図書館ではなく、市民が自由に時間を過ごし、自己表現ができ自分の好きなこと、興味のあることから、地域とのつながりを感じられるような場所をつくり、多彩な市民のマッチングプラットフォームとしての機能を持った施設の事例でした。駅北地区ではこのような施設が計画されており、計画が進めば、すごく大きな刺激となって駅南地区の再開発に期待と勢いがついてくると考えます。

まちづくり講座 皆様の疑問を解決します！

Q. めざすまちの姿やコンセプトはどんなもの？

A. 私たちが住む瑞浪駅周辺地域を子どもからお年寄りの方まで多くの世代が交流できる空間とし、住民だけではなく、駅利用者や瑞浪に訪れてきた人たちが滞在したくなるような、魅力あるまちづくりを行うため下記のコンセプトを掲げています。

まちづくりコンセプト

未来の子どもたちに渡せるまち

～瑞浪らしさを活かした多世代交流空間の創造～

私たちがこれから考えていく「まち」は、未来の子どもたちが主役です。
未来の子どもたちが暮らしたいと思える「まち」づくりが必要です。

誰だってお荷物や負債は「受け取りたくない」
「のこす」はどんなものでも残せますが、「わたす」は受け取ってもらえるものでなければなりません。

どんなまちだったら、子どもたちは受け取ってくれるのか？

多世代が交流できる

瑞浪駅周辺を、地域住民だけでなく、訪れる人々や駅利用者にとっても、便利で滞在したくなるような、多世代が交流できるような空間にします。



魅力あるまち

まちの機能を充実させ、人々が訪れ活動するエリアとすることで、活性化を図り、将来に渡り魅力あるまちを目指します。

新しい魅力づくり

美濃源氏七夕まつりやバサラカーニバルなどの人気のイベントなど、今ある魅力をさらに磨きつつ、市民ニーズを捉えた新たな魅力を生み出します。



市全体へ波及

中心市街地として、瑞浪駅周辺だけの魅力にとどまらず、瑞浪市全体の魅力の向上、市民満足度の向上につながるまちづくりにします。



私たちの市街地再開発事業だけでなく、イベントや空き店舗の活用等、積極的に参加・協力し一緒にまちの魅力をつくっていきましょう！

準備組合の活動

・6月14日（火） 第14回 理事会

・6月下旬から7月中旬 先進地視察 —掛川市・岡崎市—（予定）

再開発によりどのように街が変わり、賑わいが生まれるのか？参考にするため、先進地を見に行きましょう！今回は静岡県掛川市と愛知県岡崎市を予定しています。

詳しい内容は、別に案内します。みなさん、ぜひご参加ください。

